平成31(2019)年度 **学　校　評　価　【　計　画　書　・　報　告　書　】**　　加賀市立　庄 小学校 校長　石田 和成　印

≪学校教育ビジョン≫
教育目標　「かしこく　やさしく　たくましく」
・自他を認め大切にする心をもち，自ら考え判断し実行する子の育成
〈すすんで学ぶ子〉　〈やりぬく子〉　〈健康で思いやりのある子〉

評価の項目	今年度の重点目標	具体的取組	主担当	現状及び取組状況	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	備考	判定結果（中間）	判定結果（最終）	今後の改善策
①教育課程・学習指導	・算数科における児童の思考力・判断力・表現力を育てる。	・学年でつけたい力を学力向上ロードマップに明確に記載し、主体的な学びにつながり、つけたい力が子どもたちに身につく授業改善に取り組む。	教務・学習指導部	・昨年度から自分の考えを表現する機会を増やしてきたものの，まだ根拠や筋道を明確に表現する力が弱い。	（満足度指標） ・つけたい力が子どもたちに身につくように授業改善を進めている。	学力向上ロードマップに基づいて授業改善が進められたと答えた教職員の割合が A：80%以上　B：70%以上 C：60%以上　D：60%未満	教職員アンケート（学期末）			
	・読む力の向上を図る。	・語彙を増やし，言語感覚が育まれるよう，朝の会や家庭学習で，毎日音読・暗唱に取り組む。 ・視点をもって教材文を読むことを積み重ね、学年の発達段階に応じた読む力の育成を行う。	学習指導部	・読むことに対して苦手意識を持っている児童が多い。 ・学力テスト等では，問題文を読み切れず，読むことに課題がある児童が多い。	（成果指標） ・国語学期末「読む」テストで90点以上取ることができる。	国語学期末「読む」テストで90点以上取ることができた児童の割合が A：80%以上　B：70%以上 C：60%以上　D：60%未満	国語学期末「読む」テスト			
②生徒指導 ※いじめの未然防止	・児童の自己肯定感を高める。	・学級活動などで構成的エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを計画的に実施し，共感的人間関係を育み，自己肯定感を高める。 ・各学級で「良いところ見つけ」を行う。 ・人権週間を利用し「ぽっかぽかレター」に取り組む。	生活指導部	・昨年までの取り組みで，児童の自己肯定感が向上してきたが，依然として低い児童がいる。	（成果指標） ・自分のよさを積極的に見つけようとする。	自分には良いところがあると答えた児童の割合が A：90%以上　B：80%以上 C：70%以上　D：70%未満	児童アンケート（学期末）			
	・いじめ防止基本方針に基き，いじめの未然防止，早期発見，早期解消に努める。	・いじめに関する点検カードを定期的に実施し，児童の様子を把握する。 ・いじめ問題対応アドバイザーやSCを活用しながら，職員のいじめ対応力の向上に努める。	生活指導部	・点検カードを実施し，児童の様子を観察することができた。保護者、地域の方々の声にも耳を傾け、いじめの早期発見に努め、教職員全体が普段からいじめを意識して指導に当たる必要性を確認した。	（満足度指標） ・常に，いじめ問題を念頭において，児童の指導にあたる。	常にいじめ問題を念頭において，児童の指導にあたっていると答えた教職員の割合が A:90%以上　B：80%以上 C:70%以上　C：70%未満	教職員アンケート（学期末）			
③進路指導・キャリア教育	・キャリア教育の4つの柱の中の「自己理解・自己管理能力」を高める。	・子どもたち自身が自己のめざす姿を明確にし，学期ごとに計画的に取り組む。	生活指導部	・与えられたことには素直に取り組む児童が多いが，自分で目標を持って，いろいろなことに取り組もうとする意欲が低い。	（満足度指標） ・キャリア教育で育てたい力：自己理解・自己管理能力（学年の重点項目）を意識して，ワンランクアップをめざした指導を行う。	学年の重点目標を意識し，ワンランクアップをめざした指導を行ったと答えた教職員の割合が A：90%以上　B：80%以上 C：70%以上　D：70%未満	教職員アンケート（学期末）			
④保健管理	・児童の体力を向上させる。	・走ろう運動やスポチャレを利用して体力の向上を図る。	健康指導部	・毎日の日課の中に走ろう運動やスポチャレを位置づけ，継続して取り組んでおり，児童は非常に意欲的である。	（成果指標） ・学期末に50m走のタイムを測り、記録を更新できた児童の割合が、80%以上になる。	学期末に50m走のタイムを測り、記録を更新できた児童の割合が、 A：90%以上　B：80%以上 C：70%以上　D：70%未満	50m走記録（学期末）			
	・ 基本的な生活習慣を身につける。	・児童健康委員会の活動で，歯の健康に関する取り組みを実施する。 ・生活習慣チェックに取り組む。	健康指導部	・むし歯の保有者が全校で56.4%と多い。治療率は高いが近年伸び悩んでおり、再度むし歯になる児童も多い。	（成果指標） ・自分の生活を見直し，生活習慣を良くしようとする。	1日3回，3分以上の歯みがきを実施できている児童が A：90%以上　B：80%以上 C：70%以上　D：60%以上	児童アンケート（学期末）			
⑤安全管理	・危機管理意識を高め，事故や災害の際に的確な行動をとることができるようにする。	・火災や不審者侵入等様々な場面を想定した訓練を実施し，児童・職員の危機対応能力と危機管理意識の向上を図る。	教頭・各担当	・これまでの研修で職員の危機対応能力は向上してきた。しかし，今年度は職員構成が大きく変わったため、訓練や研修を通して危機対応力の向上を図っていく必要がある。	（満足度指標） ・訓練や研修を通して，職員が危機管理や対応力の向上を実感している。	危機管理や対応力が向上していると答えた教職員の割合が A：90%以上　B：80%以上 C：70%以上　D：70%未満	教職員アンケート（学期末）			
⑥特別支援教育	・校内支援を充実させる。	・各担任から児童の様子を聞き，計画的に，また必要に応じて校内支援委員会を実施する。 ・支援方法を検討し，全職員で共通理解のもと，指導に生かす。	生活指導部	・校内支援委員会や児童理解の会を通して，児童の様子を共通理解してきたが，具体的な支援策を検討し、継続していく必要がある。	（満足度指標） ・校内支援委員会で具体的な支援策を検討し，全職員で支援に努める。	校内支援委員会で具体的な支援策を検討し，組織的に支援を行えたと答えた教職員の割合が A：100%　B：90%以上 C：80%以上　D：80%未満	教職員アンケート（学期末）			
⑦組織運営・業務改善	・教職員のタイムマネジメント力を高め、業務の効率化を進める。	・目標時刻に退校することを意識し，見通しを持って業務に取り組む。	教頭・教務	・行事のねらいを再確認し取り組みを簡素化したり，代替案を提示したりすることで，業務の焦点化を進めているが，労働時間の個人差が大きい。	（成果指標） ・目標退校時刻に退勤できた日が8割を超える。	目標時刻までの退勤を8割達成できた教職員の割合が A：90%以上　B：80%以上 C：70%以上　D：70%未満	教職員アンケート（学期末）			
⑧研修	・ワンランクアップを目指した若プロ・校内研修を充実し，授業改善を図る。	・要請訪問や校内研修サポート等を活用し，計画的に授業研究を行う。 ・授業改善のためのOJTが日常的に行われるような環境を整える。	教務・学習指導部	・新学習指導要領を視野に入れて，授業実践に取り組むことを共通理解している。	（満足度指標） ・研修やOJTをもとに授業改善に取り組んでいる。	研修や日常的なOJTをもとに授業改善に取り組んだと答えた教職員の割合が A：90%以上　B：80%以上 C：70%以上　D：70%未満	教職員アンケート（学期末）			
⑨保護者，地域との連携	・行事や教科等で，保護者・地域との連携を深める。	・年間を通して，様々な教科・行事で，保護者や地域の人材を生かした授業を行う。	教頭・各担当	・様々な教科・行事で，地域の人材を生かしているが，年間の見通しをもって取り組む必要がある。	（成果指標） ・学期に1回以上，保護者または地域の人材を生かした授業を行う。	保護者や地域の人材を生かした授業が，学期に1回以上行えたと答えた教職員の割合が A：90%以上　B：80%以上 C：70%以上　D：70%未満	教職員アンケート（学期末）			
⑩教育環境整備	・教育環境の整備に努める	・計画的に，校舎内の掲示・展示スペースを有効に活用し，知徳体の育成につながる工夫をする。	学習指導部	・昨年，掲示計画を作成し，それに沿って担当者が工夫して行っている。目的に応じたよりよい環境整備を目指す必要がある。	（満足度指標） ・学習指導部を中心に，掲示（展示）計画を立て，目的に応じた環境整備を行う。	掲示計画に沿って，環境整備ができたと答えた教職員の割合が A：90%以上　B：80%以上 C：70%以上　D：70%未満	教職員アンケート（学期末）			

学校関係者評価	